



中春別地区 CS めざす子ども像：【中春っ子 未来を拓こう みんなの笑顔】

教育目標：～自らの未来に向かって、目標を高く持ち、仲間と協調しながら前向きに挑戦する子どもを育てる～

校長 葛迫 勝秋

## 『 できるまでやれば、できる 』

3年生はいよいよ進路の実現に向けて大詰めを迎えています。授業では受験対策の問題演習とその解答や解説が行われ3年間の総まとめをしているところです。もう1つの対策として、志望動機など自信をもって自分の考えを伝えられるように面接練習が実施されています。私たち教員にとっては3年生3学期に毎年見られる光景ですが、生徒にとっては初めてのことであり、覚悟を持って真剣に取り組むこの時の3年生の姿にいつも感服しております。

「人は、いやというほど勉強するときに、一生のうちで2・3回はある」と思っています。その1回目が今にあたると思っています。昔から大きくは変わらない入試ですが、1問でも多く、1点でも多く諦めないで努力を重ね、目標を実現しようとする経験は、大人になって社会のハードルを越えるときにきっと役に立ちます。とはいうものの、3年生は誰もが初めての経験です。不安や緊張もあるでしょうし、体調管理の徹底も必要ですが、いやというほど勉強するのであれば、努力を重ねた自分を信じて本番で全力を出し切ることができるよう準備を万全にして当日を迎えてほしいと思います。

私は、「すみません」と言われるより、「ありがとう」と言われた方が嬉しく感じます。同じような気持ちで感謝を伝える言葉ですが、伝わり方の違いを感じます。また、「あきらめない」という言葉はとても強い意志を感じますが、どこか少し追い詰められた印象を受けます。そんなに頑張らなくていいよって、言ってあげたくなります。「あきらめない」という言葉と同じ意味として「できるまでやれば、できる」という言葉があります。子どもたちには「できなければいけない」「やらなければいけない」だから「あきらめない」という悲壮感的な感覚ではなく、自分にも「できるかもしれない」という期待感や高揚感から沸き起こる感情が「できるまでやれば、できる」となってポジティブに明るく活動できるようになってほしいと思います。

3月14日(木)に中春別中学校第57回卒業式を挙行いたします。数年ぶりに多数のご来賓を迎えての式となります。保護者の皆さまにおかれましては、巣立ちゆく卒業生へ励ましと激励の言葉をかけていただければ幸いです。どうぞ、よろしく願います。